

## 令和元年度 宮本常一が撮影した写真を調べるコンクール

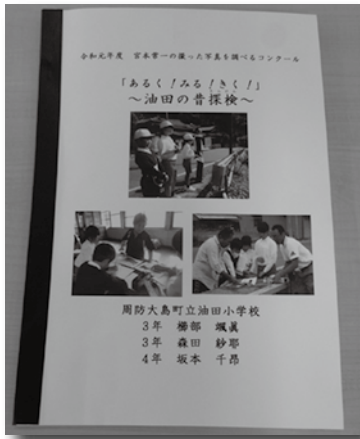
ふるさとの歴史や地域の変遷への興味・関心を高め、これからの社会の中で自信をもって活躍できる人に育ってほしいという願いのもと、「宮本常一が撮影した写真を調べるコンクール」を実施しました。対象は町内の小中学生で、本年度は第14回となりました。受賞された方は左記の皆さんです。

### ◆教育長賞

「あるくーみるーきくー！」

～油田の昔探検～

油田小学校 3・4年生の皆さん



### ◆特選

「昔と今の地曳き網漁について」

森野小学校 4年 末武紫乃さん

### ◆入選

「宮本常一先生の写真を調べてみよう」  
森野小学校 3年 青木涼河さん

「宮本常一が撮影した写真を調べるコンクール」  
東和中学校 1年生の皆さん

### ◆学校賞

「2019宮本常一が撮影した写真を調べる」  
大島中学校 1年生の皆さん

受賞作品は、宮本常一記念館において、2月23日(日)から3月8日(日)まで展示します。子どもたちが先人の偉業から学び、これからも大きく成長していくことを願っています。

### ■問い合わせ 学校教育課

☎0820(78)2204



地域おこし協力隊員 篠原哲夫の

## しましまタイムズ

SHIMASHIMA TIMES

16

周防大島観光協会

☎0820(72)2134

こんにちは、地域おこし協力隊の篠原です。早いもので、協力隊として観光協会に着任してから丸3年が経ち、今回が最後の寄稿となります。任期の終了後も、商工観光に関わる分野において町内で活動いたしますので、よろしくお願いたします。

さて、1月19日(日)に「第14回周防大島まるかじり紅白餅合戦」と題して、県内最大級の餅まきイベントを日良居庁舎周辺にて開催しました。1回に4000個、午前11時から1時間おきに4回、計1万6000個の餅が宙を舞いました。おかげさまで大きなトラブル無く実施できました。飲食店やキッズコーナーも充実し、家族連れも多く見かけました。

このような大規模なイベントを14年も継続できているのは、町内のJA、漁協、郵便局、商工会、観光協会が一致団結した共同主催という背景があり



ます。表には見えませんが、イベントの事前・事後の業務として、檣、大量のテント・イス・テーブル、各種表示印刷物、駐車場関係、ガラポン関係など、さまざまな物資の手配が必要となります。

私自身、3年前に初めて運営に携わったとき「なんて皆さん手際がよいのだろう」と驚いた記憶があります。運搬トラックの手配や、各種物資の作成・荷積み・設置作業の人員など、各主催者間で役割分担があり、前日に一気に準備を完成させる仕組みが出来上がっています。このような団結は、イベントに限らず、いざという時に役に立つ、周防大島の素晴らしいところの一つと思っています。

【P4 ちょび塩クイズ答え:× 医師の指示に従わず、自己流で薬の飲み方を変えていると、血圧の変動が大きくなり脳卒中や心筋梗塞の引き金になる恐れがあります。】